

栄養解析

のごあんない



健康診断では「異常なし」、でも…

疲れやすい、肩がこる、血圧が高い、最近太った、元気が出ない
など 気になることはありませんか？

それは、病気になる前のサインかもしれません。

原因は、
栄養バランスの乱れ
かもしれません。

同じ検査項目でも、
オーソモレキュラー栄養医学に基づいて見ると、
あなたの不調の原因が見えてきます。

オーソモレキュラー栄養医学的解釈の一例

※脱水、炎症などのデータが変化する要因を除く

検査項目の例	通常の診断対象	全身状態、 タンパク代謝	脂質代謝	糖代謝	ビタミン 不足	ミネラル 不足	酸化 ストレス	筋量 低下
総蛋白	栄養状態、肝臓・腎臓	●					●	
アルブミン	栄養状態、肝機能	●						
間接ビリルビン	肝臓疾患	●					●	
AST (GOT)	肝機能	●			● ※1		●	
ALT (GPT)	肝機能	●			● ※1		●	
ALP	肝機能					● ※3		
LDH	貧血、炎症、骨疾患	●			● ※2			
γ-GTP	肝臓、胆道系疾患	●					●	
コリンエステラーゼ	肝臓疾患	●	●					
総コレステロール	高コレステロール血症	●	●	●				
LDLコレステロール	冠動脈疾患のリスク	●	●	●				
HDLコレステロール	動脈硬化のリスク	●	●					
中性脂肪	肥満の状態	●	●	●			●	
尿素窒素	腎臓機能	●						
クレアチニン	腎臓機能	●						●
ヘモグロビン	貧血	●			● ※1	● ※4		
ヘマトクリット	貧血	●				● ※4		
血清鉄	貧血	●				● ※4	●	
フェリチン	悪性腫瘍	●				● ※4		

※1:特にビタミンB。 ※2:特にナイアシン ※3:特に亜鉛 ※4:特に鉄

詳しい解析レポートをお作りし、ご説明いたします。

お食事の指導や医科向けサプリメントの選択を行います。

ご希望に応じて、3~6か月後に効果判定を行います。

当院の医師・スタッフにお気軽にお問い合わせください。